

思春期ピアカウンセラー養成講座のカリキュラムが改定され、改定カリキュラムによる養成が、今年度からスタートしました。

養成者セミナーも、思春期だけに限らず、幅広い分野で活用できるピアカウンセリングのプログラムとなるようにカリキュラムを改定しました。いろいろな分野の方々との交流を深めることによって、今後、更なる進化が期待されます。

◆2011年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催状況◆

NO	都道府県	日 程
1	北海道	平成23年6月4日(土)・5日(日), 6月18日(土)・19日(日)
2	青森県	平成23年8月25日(木)～28日(日)
3	秋田県	平成23年8月25日(木)～28日(日)
4	岩手県	平成23年9月3日(土)・4日(日), 9月17日(土)・18日(日)
5	山形県	平成23年8月16日(火)～19日(金)
		平成23年11月8日(火)～12月4日(日)
6	福島県(福島)	平成23年6月18日(土)・19日(日), 6月25日(土)・26日(日)
7	福島県(郡山)	平成23年11月19日(土)・20日(日), 11月26日(土)・27日(日)
8	栃木県	平成23年8月2日(火)～5日(金)
		平成23年8月22日(月)・23日(火), 11月19日(土)・20日(日)
9	群馬県	平成23年6月25日(土)・26日(日), 7月2日(土)・3日(日)
10	長野県(諏訪)	平成23年7月24日(日)～27日(水)
11	長野県(長野)	平成23年8月27日(土)～30日(火)
12	兵庫県	平成23年6月18日(土)・19日(日), 6月25日(土)・26日(日)
13	鳥取県	平成23年6月18日(土)・19日(日), 8月20日(土)・21日(日)
14	岡山県	平成23年9月3日(土)～6日(火)
15	香川県	平成23年8月27日(土)～30日(火)
16	徳島県	平成23年9月3日(土)～6日(火)
17	熊本県	平成23年9月5日(日)・6日(月), 9月11日(日)・12日(月)
18	宮崎県	平成23年9月5日(日)・6日(月), 9月11日(日)・12日(月)
19	鹿児島県	平成23年9月5日(日)～7日(水)
20	U-COM	平成23年8月22日(月)・23日(火), 11月19日(土)・20日(日)

◆平成 23 年度ピアカウンセラー養成者養成セミナー◆



7月16日から7月19日に保健会館で第7回ピアカウンセラー養成者養成セミナーが開催されました。今年は、ピアカウンセラー経験者3名が養成者を目指して受講され、また、乳がんのピアカウンセラー養成に取り組みたいというご希望の方2名も受講されました。

服部まなみ(まなっちゃん)

私は大学でピアカウンセラーとして活動していました。ピアカウンセラーとして地域の高校や中学校へのピアエデュケーションを始め、他県のピアカウンセラー養成講座や学会への参加などを経験をしました。ピアカウンセラーとして活動する中、私は自信を失いピアカウンセラーとして今後活動していくべきか、思春期の子と向きあえることができるか悩み、パワーレスになった時期がありましたが、一緒に活動してきた友人や高村先生、そして“ピア”に支えられ続けられました。そして今、私が活動を通して経験してきたことを活かしたい、ピアカウンセラーを支える立場になりたいと思い、今回講座に参加させて頂きました。

学生の時にも養成講座を受けましたが、その時とは違った思いで参加しました。まず養成者として、セクシャリティに関する知識やカウンセリングのスキルを伝えていく立場となるため、ただ知識を頭に詰め込むのではなく、“この知識をピアカウンセラー達にどのように伝えていくか”という伝え方を常に考えながらプログラムに臨みました。また、ピアカウンセラーのパワーレス時の対応では、自分が同じような経験をした時“こんな支えが必要だった”と振り返りながら、寄り添い方を再度見つめなおすことができました。

今回の講座は私にとって、自分自身、人間関係について見つめなおす機会となり、スキルアップに繋がりました。この4日間の経験をピアカウンセラー養成講座だけではなく、さまざまな場所で活かしたいと思います。

円満字千代佳

このセミナーのお話を伺ってから私の人生は大きく変わりました。しかし、この時点では参加は手の届かない雲の上のものでした。

当時、やっと自分のやりたいことが見はじめたばかりの私は、ピアの活動とこのセミナーを知りましたが、受講など夢のまた夢、という状況でした。受講要件のどれにも当てはまらず、知識もなく、ただ思いだけで応募致しましたが、先生方の温かいお計らいにより受講をお許し戴き、大喜び致しました。知識も経験もない為、6月に福島ピアカウンセラー養成講座を見学させて戴ける事になりました。とても緊張しましたが当日会場で先生方の飛び切りの笑顔と元気なピアっ子の皆様に受け入れていただき、心がほどけていくのを実感しました。プログラムを追う毎に受講生も私もどんどん世界が変わって行きました。”これがやりたかった！”という夢の紙芝居を見せていただけたようなあつという間の二日間でした。

その後、何とか事前課題と格闘し、とうとう夢にまで見たセミナー開始。全く場違いな私ですが、先生方、メンバーの方々のおかげで勉強させて戴くことが出来、心から御礼申

上げます。教科書、資料、講義、実習、と、完璧なカリキュラムで、どんどん世界が変わって行きました。特に、エンカウンター実習は嬉しい驚きでした。一人で教科書を読むのとも見学とも違う、まさに“体得”を実感することができました。そして、信頼できる素晴らしい受講仲間の方々と安心して居る場を得ることができました。この“宝物”を手には、一生懸命勉強し、目指すピア活動を切り開いて参ります。

私達は、乳がんのピアカウンセラー養成を計画しております。乳がんのピア活動は、既に自然発生的に各地で行われていますが、統一した理論もスキルも無いのが実情です。罹患者も増加していく中、少しでも早くそれらを身につけたピアカウンセラー養成活動が出来れば、とっております。漠然とした夢として温めていた頃からまだ間もなく、勉強も活動も始めたばかりですが、精一杯頑張ります。挫けそうになる事もあると思いますが、このセミナーで得られた宝物を胸に、絶対に諦めず、少しずつでも前を向いて進んで行こうと心に決めました。

諸先生方、皆様、本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆平成 23 年度ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナー報告◆

平成 23 年 11 月 3 日、4 日に、第 5 回となるピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナーが開催されました。今回は、認定希望者 2 名、ブラッシュアップセミナー参加者 2 名の合計 4 名の方が参加されました。

認定希望の 2 名の方は、これまでの養成研修生としての力を発揮いただき、養成認定者として試験に合格されました。高村代表からは、「ピアカウンセリングの基本理念を踏まえたうえで、その人らしい養成者になって欲しい」との言葉が 2 名の方に贈られました。

ブラッシュアップⅠでは、「生きる・未来を考えるエクササイズ」としてエンカウンター講義・演習（講師：渡辺理事）、ブラッシュアップⅡでは、「被災地の取り組み」として、福島での被災者支援のピア活動について（講師：石田理事）の講義がありました。また、高村代表のラテン社会でのピア活動についての報告があり、海外での活動から、日本の活動を振り返る機会を得ることができました。



少人数での開催でしたが、心温まる 2 日のセミナーとなりました。（文責：安達久美子）

高田恵理 牧野奈穂子

平成 23 年 11 月 3、4 日の 2 日間にわたり、平成 23 年度ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナーが開催された。

高村寿子先生、石田登喜子先生、安達先生、渡辺純一先生の 4 名の講師と参加者 4 名（ピアカウンセラー養成者認定試験の受験者が 2 名、ブラッシュアップセミナーのみの受講者が 2 名）の 8 名で行われた。少人数のためか、和やかでアットホームな雰囲気の中セミナーは進められた。

模擬授業は非常に緊張したが、高村先生やその他の講師たちのフォローや助言のおかげで模擬授業を終え、無事合格することができた。自分達の未熟さを痛感したが、自己の課題と周囲のあたたかさを実感した時間でもあった。

ブラッシュアップセミナーは、渡辺先生の『震災に関わるメンタルヘルス』、石田先生の『被災地のピアの取り組み』であった。未曾有の災害から人間が受ける影響と、どのような状況でもありのまま受け入れること、そして未来を思い描きその実現に向かい努力する力を自分自身が持ち生きていくこと、そして生きていく他者に寄り添うことの大切さを実感した。

最終日は『今養成講座では何が起きているのか』というテーマでグループディスカッションを行った。内容は以下の3点である。

1. ピアカウンセリングの活動内容について

活動目的をエンカウンター自己理解・他者理解としているケースがある。しかしピアカウンセリング活動の目的は性を肯定的に受け止め、未来に向かって生きていくことをサポートすることである。エンカウンターはその目的を達成するための手段であることを再認識する必要がある。

2、行政とのタイアップについて

国策に精通し、行政とタイアップしていくことが活動を支える。

現在虐待に関して10割の予算がつくという国策が施されている。思春期の健康教育により虐待の予防につながるというコンセプトで事業を都道府県に提案すれば活動の大きなバックアップとなる。そういった情報を行政担当者やコーディネーターと連携をとり活動を展開していくことが望ましい。

3. 学生気質について

全国的に受講希望者が減少しているが、その要因として、今の若者気質について、ボランティア活動へ関心が薄れている、報償が必要、経済的に負担を抱えている学生が多い、アルバイトと学業で忙しい、困難を乗り越えてまでやり遂げようと思わない、などの意見が出された。ピア活動に関心はあるが、学業やアルバイトが忙しく、経済的にも苦しい状況にある学生が多いように思える。ピアっ子たちを見ていると非常に学業やアルバイトで忙しいが、ピア活動の喜びや達成感を味わい、活動に意義を見出し充実した日々を送っている。関心のある学生たちが活動できるように、今後も対策をしていく必要がある。

ディスカッションにより視野を広く持ち活動に携わっていくこと、学生気質を見逃さないこと、養成者としてブラッシュアップしていくことの必要性を再確認できた。



<編集後記>第4回ピアカウンセリング全国大会が、平成23年12月23・24日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されます。次号は全国大会の様子をお届けします。

日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門
電話 0285-58-7338
FAX 0285-44-7217
発行人 高村寿子 編集人 前田ひとみ
年3回発行 <http://www.iccaea.net/>